

# 平成24年度 第2回理事会・評議員会開催

## 平成25年度公益財団法人茨城県消防協会事業計画

事業名	計画の概要
1 公益1事業 (消防防災技術の向上及び消防団等の組織の強化) (1)消防ポンプ操法大会 (2)全国消防操法大会 (3)消防救助技術大会 (4)消防ポンプ操法大会審査員研修会 (5)消防団長研修会 (6)消防団員指導員研修 (7)日本消防協会主催研修事業への参加 (8)女性消防団結成促進等助成 (9)女性消防団結成促進大会 (10)支部別団長等懇談会 (11)理事研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員の消防ポンプ操法技術の向上及び士気高揚を図るため、全市町村が参加して県内6地区で県と共催で実施し、併せて自治体消防65周年を記念し、各地区大会優勝チームによる県大会を実施する。</li> <li>第21回全国女性消防操法大会の出場隊に激励金を支給する。</li> <li>消防職員の救助技術の向上を図るため、県消防長会との共催で実施する。</li> <li>消防ポンプ操法大会審査員養成の研修会を実施する。</li> <li>消防団長を対象として、消防団活動の諸問題について調査研修を実施する。</li> <li>消防団員の防災技術の向上を図るため、消防団の指導者を対象に研修会を実施する。</li> <li>(財)日本消防協会が行う消防団幹部研修に参加するための連絡調整を行う。</li> <li>新たに女性消防団を結成する消防団に対し、活動服購入等経費の一部を助成する。</li> <li>県内女性消防団員及び関係者が一堂に会し、女性消防団の資質向上と士気高揚を図る。</li> <li>県内6支部において消防団長等懇談会を開催し、消防団活性化の意見交換を行う。</li> <li>消防協会理事を対象として、県外災害事象の視察研修を実施する。</li> </ul>
2 公益2事業 (消防職・団員の士気の高揚と組織の強化) (1)消防殉職者慰霊祭 (2)全国消防殉職者慰霊祭 (3)消防大会 (4)定例表彰 (5)消防叙勲・褒章等受章祝賀会 (6)退職消防団長報償 (7)退職消防団員等報償 (8)健康増進事業 (9)消防車両等寄贈 (10)海外視察研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防業務遂行中に殉職した消防職・団員の御霊を慰めるため慰霊祭を執行する。</li> <li>殉職した消防職・団員の本県遺族とともに、全国慰霊祭に参加する。</li> <li>消防防災思想の高揚と消防関係者の功績者の表彰を行うため、県との共催で実施し、併せて自治体消防65周年を記念し消防職・団員を含む消防関係者に対し表彰状及び記念品を贈呈する。</li> <li>(財)日本消防協会が行う定例表彰に候補者を申し、表彰式に出席し表彰物品を伝達する。</li> <li>平成25年度の消防関係叙勲・褒章等受章者及び所属消防団長等を集め、祝賀会を開催する。</li> <li>退職消防団長に感謝状と記念品を贈呈する。</li> <li>県の委託を受け、在職期間5年～15年の退職消防団員に感謝状と記念品を贈呈する。</li> <li>消防団員福祉共済制度等の加入促進を図るとともに、加入団体に健康増進器具等を配布する。</li> <li>発展途上等の要請により、使用済みの消防車両等を寄贈するための連絡調整を行う。</li> <li>(財)日本消防協会が行う海外視察研修に参加するための連絡調整を行う。</li> </ul>
3 公益3事業 (地域連携の強化及び消防防災思想の普及広報活動) (1)地域交流活動促進事業の助成 (2)県内消防関係団体への助成 (3)機関紙の発行 (4)防火ポスターの配布 (5)新聞掲載・ラジオ放送 (6)幼年少年婦人防火大会 (7)役員会議 (8)関東甲信地区消防協会会議 (9)事務局長会議 (10)関東甲信地区消防協会事務局長会議 (11)日本消防協会各種事業担当者会議 (12)その他各種調査等	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員相互及び消防団と住民・企業等との交流活動を行う消防団に対し、活動に要する経費の一部を助成する。</li> <li>県内消防関係団体の各種活動に対し経費の一部を助成する。</li> <li>消防団又は消防協会各支部が行う教育訓練事業</li> <li>消防職・団員が公共機関等の実施する海外消防事情視察研修会に参加</li> <li>民間防火組織の育成を図るために、婦人防火クラブ連絡協議会及び幼年少年婦人防火委員会が行う活動</li> <li>消防本部と消防団の連携を図るために消防長会の各種研究部会が行う活動</li> <li>消防団長等で組織する消防連会が行う消防知識の普及活動</li> <li>県内6支部が行う支部活動</li> <li>茨城県消防協会の広報誌を県内消防団、消防本部及び関係機関に隔月6,400部配布する。</li> <li>(財)日本消防協会が発行する月刊誌や防火ポスターを県内消防団及び消防本部へ配布する。</li> <li>火災予防運動週間及び防災の日に新聞広告等を活用し、防火防災思想の普及に努める。</li> <li>県内の民間防火組織の相互交流を深め、火災予防思想の普及高揚を図る。</li> <li>(財)日本消防協会が行う役員会議に出席する。</li> <li>(財)日本消防協会が行う関東甲信地区の消防協会会議に出席する。</li> <li>(財)日本消防協会が行う消防協会事務局長会議に出席する。</li> <li>関東甲信地区都県において輪番で開催される消防協会事務局長会議に出席する。</li> <li>(財)日本消防協会が行う関東甲信地区の消防協会事業担当者会議に出席する。</li> <li>他都道府県消防協会等からの照会事項等に対応する。</li> </ul>
4 共済事業 (消防団員等を対象とした共済事業) (1)弔慰金・見舞金の贈呈 (2)福祉共済事業 (3)火災共済事業 (4)消防互助年金事業 (5)その他共済事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防職・団員の死亡又は傷病について、弔慰金又は見舞金を贈呈する。</li> <li>(財)日本消防協会が行う消防職・団員のための福祉共済制度の事務処理を行う。</li> <li>(財)日本消防協会が行う消防職・団員のための火災共済制度の事務処理を行う。</li> <li>(財)日本消防協会が行う消防職・団員のための消防互助年金制度の事務処理を行う。</li> <li>(財)日本消防協会が行う婦人消防隊員等のための福祉共済制度等の事務処理を行う。</li> </ul>



議長を務める澤畑副会長

議長を務める澤畑副会長は、理事と評議員の両方から出席者として、理事は、まず、理事会と評議員会の議案が同じであったため同時開催としたことを説明した後、議定された議案(理事数三十四名、評議員数三十七名)の出席者三十三名、過半数を超え、会

平成二十四年度第二回公益財団法人茨城県消防協会理事

会と評議員会が、三月十一日(月)に茨城県総合福祉会館において開催されまし

た。

議長を務める澤畑副会長は、理事と評議員の両方から出席者として、理事は、まず、理事会と評議員会の議案が同じであったため同時開催としたことを説明した後、議定された議案(理事数三十四名、評議員数三十七名)の出席者三十三名、過半数を超え、会

議長を務める澤畑副会長は、理事と評議員の両方から出席者として、理事は、まず、理事会と評議員会の議案が同じであったため同時開催としたことを説明した後、議定された議案(理事数三十四名、評議員数三十七名)の出席者三十三名、過半数を超え、会

議長を務める澤畑副会長は、理事と評議員の両方から出席者として、理事は、まず、理事会と評議員会の議案が同じであったため同時開催としたことを説明した後、議定された議案(理事数三十四名、評議員数三十七名)の出席者三十三名、過半数を超え、会



2・3月号

発行所  
水戸市千波町1918番地  
茨城県総合福祉会館内  
公益財団法人茨城県消防協会  
編集発行人  
消防協会長 葉梨 衛  
印刷所  
富士オフセット印刷(株)  
(1部 15円)

席)となり、評議員会の議長(水戸市消防団長 青木英明様)及び評議員会の議事録署名人(常陸大宮市消防団長 岡山勝彦様/鹿行広域消防長 久保木博様)を選出(理事長は定款の規定により会長及び監事)し、議案が審議され、それぞれ原案(おりの承認)で議決されました。(議案第一号から第三号については、理事会の議決事項であり、評議員会は報告事項となっています。)

## 第六十五回 日本消防協会定例表彰式

平成二十四年度の日本消防協会定例表彰式が、平成二十五年二月二十六日(火)ニッショーホールにおいて厳粛かつ盛大に挙行されました。式典には、特別表彰(まとい)受賞者である笠間市消防団と優良婦人消防隊員代表受賞者である頃藤婦人防火クラブ消防隊の齊藤会長のほか、受賞者を代表して次の方々が出席されました。

- ・ まさき美咲会婦人消防隊 (東海村・中野隊長 他)
- ・ 頃藤婦人防火クラブ消防隊 (大子町・齊藤会長)
- ・ 結城市消防団
- ・ 大子町消防団
- ・ 利根町消防団 (八十八団)



特別表彰(まとい)を受賞する笠間市消防団の深谷団長、嶋田副団長



優良婦人消防隊員(功績章)を代表受章する頃藤婦人防火クラブ消防隊の齊藤会長

- 功績章(九百三十四名)
- ・ 日立市消防団
- 副分団長 弓野 忠男 他二十九名
- 精績章(二千二百二十七名)
- ・ 水戸市消防団
- 副団長 渡長 勝男 他六十九名
- 勤続章(七千五百五十一名)
- ・ 水戸市消防団
- ・ 頃藤婦人防火クラブ消防隊 (二十名)
- ・ 齊藤 路代
- 副団長 海老根正夫 他百六十名
- 優良婦人消防隊(表彰旗)(十五隊)
- ・ まさき美咲会婦人消防隊
- ・ 優良婦人消防隊員(功績章)

## 第三十回 火災予防ポスターコンクール表彰式

小・中学生を対象とした火災予防ポスターコンクールの表彰式が、平成二十五年二月二十一日(木)県庁第一応接室で開催され、橋本知事から表彰状が授与されました。



表彰式(左から荒瀬瑠羽香さん、橋本知事、高野まつりさん、長南めいさん)

このコンクールは、茨城県幼年婦人防火委員会(会長・橋本知事)の主催で毎年行われ、一月二十二日に開催された「ポスターコンクール審査会」において、入選作品が決定しました。

応募総数四千九百五点のうち、県内各地域から推薦された二百二十点が審査会に掛けられ、厳正な審査の結果、次の三名が「最優秀賞」に決定しました。

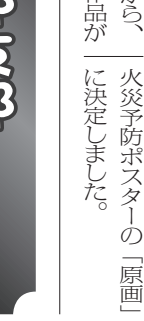
- (小学生低学年の部) 牛久市立牛久小学校 三年 長南 めいさん
- (小学生高学年の部) 日立市立河原小学校 五年 高野まつりさん
- (中学生の部) 阿見町立竹来中学校 一年 荒瀬瑠羽香さん

## 県南南部支部 女性消防団員研修会

茨城県消防協会県南南部支部主催の女性消防団員研修会が、平成二十五年二月十日に河内町の「中央公民館」において、支部内九市町村の消防団長や女性消防団員など、総勢五十三名が出席して開催されました。

研修内容は、予め団員にアンケートを実施し、その内容について意見交換会が行われました。

この研修を通して、支部内の女性消防団員同士が交流を深め、各団体が抱えている問題が改善されること、今後の活動に役立てていただくよう、引き続き支部内の結束力が強化され、活動が更に充実することを祈念します。



研修会に参加されたみなさん



# 消防職員意見発表会

茨城県消防長会主催の第三十六回全国消防職員意見発表会が、平成二十五年二月十三日(水)に大子町で開催されました。県内各消防本部から一名が出場し、真摯で熱気あふれる発表会となりました。

〔審査結果〕

- ・最優秀賞 日立市消防本部 岡崎 智史
- ・優秀賞 稲敷広域消防本部 村田 広

「私達にできること」

～運転時防災対策編～

日立市消防本部 岡崎 智史

皆さんは車を運転したことがありますか。おそらく多くの方は「YES」と答えるでしょう。では、質問を返さず「あなたは見知らぬ町を運転しています。その際、大

地震に遭遇したらあなたはどのような行動をとりますか。十分な備えはできていますか。」

平成二十三年三月十一日、日立市は東日本大震災により、ライフラインが大きな被害を受け、道路には立ち往生する車が溢れていました。私もその中の一人でしたが、幸い被災した場所が自分の生活圏内であったため避難行動は容易にできました。しかし、もしそこが見知らぬ町だったら、私にはどのような行動がとれていたのか。恐らく避難所の場所さえわからずにいたことでしょう。

この体験から私は、各自治体が定める防災マニュアルの中に、運転者の避難行動に着目した「緊急時ドライバーズプラン」を盛り込むことを提

案します。

「緊急時ドライバーズプラン」とは、車を運転中に被災した際、どのような避難行動をとるべきかを具体的に示した行動計画です。

このプランの大きな目標は、近年、各自治体が力を入れて作成している、地域ごとの避難所や危険箇所を示した身近な防災マップを、二十四時間営業のコンビニエンスストアあるいはガソリンスタンド等に置いてもらい、設置の目印として店の入り口にステッカーを掲示してもらうことです。そして、プランの中に、「運転中に被災した際は、近くのコンビニエンスストアやガソリンスタンド等にある防災マップを参考に避難してください。」と策定する

のです。そうすることで、土地勘のない方でも、防災マップをいつでもすぐ利用し、安全に避難することができるようになります。

次に、道路状況が悪く安全に避難することが困難である時は、その場所へ留まるのが最善の策となる場合があります。そのような時の備えとして、車内専用の非常持ち出し袋や、寒い時期には防寒対策として毛布等を備えることもプランに盛り込み



意見発表する岡崎さん

「私達にできること」

～運転時防災対策編～

日立市消防本部 岡崎 智史

皆さんから「YES」と答えた際、十分な備えはできていますか。この質問に対しては、

この「緊急時ドライバーズプラン」を広めていくためには、日頃、私達が行っている避難訓練や自主防災訓練でリーフレット等を活用し広報を実施することももちろんのこと、自動車販売店や教習所にも協力を依頼し、広く認知させることで、災害から自分自身を守る可能性を何倍にも高めることができるはずです。

災害はいつ、どこで発生するかわかりません。その災害に対して、私達はどうすれば良いのでしょうか。何ができるのでしょうか。そうなんです、今できる最善の備えをするしかないのです。どうか皆さん、自らをそして大切な人を守るためこの「緊急時ドライバーズプラン」を実践していきましょ。

さて、茨城消防も今回が今年度最後の発行となりました。発行にあたりご協力頂きました皆様に改めてお礼いたします。

来年度も引き続き各種情報をお寄せ頂きますよう、よろしくお願い致します。(せ)

平成二十四年度茨城県消防功労者表彰式が、平成二十五年二月二十一日(木)県庁第一応接室で行われました。当協会からは、来賓として葉梨会長はじめ、大家顧問と七名の役員が出席しました。

今年度は、「功労章」が十二名(消防団長七名・消防長五名)、「表彰状」が七名(元団員一名・元職員六名)、合計十九名の方々が受賞されました。

「功労章」とは、「多年災害現場において消防業務に精励するとともに、指導者として功績顕著な者」として現職の消防団長及び消防長に贈与されるものです。

また、「表彰状」とは、「多年消防業務に精励するとともに、退職後も地域の消防防災活動に尽力されている者」として元職の消防職・団員に贈与されるものです。

この表彰は、県消防大会における知事表彰とは別枠のものであり、このように元職をも対象として消防大会以外に定例的に行う表彰制度は、全国的にも例のないものです。今年度の受賞者は、次のとおりです。

功労章(十二名)	表彰状(七名)
下妻市消防団 団長 富田 光一	ひたちなか・東海消防本部 消防正監 柳橋 勉
牛久市消防団 団長 富田 光一	元 大子町消防団 副団長 綿引 秀孝
茨城町消防本部 消防正監 中村 誠	元 土浦市消防本部 消防司令長 下村 孝
茨城西南消防本部 消防正監 長瀬周之助	元 取手市消防本部 消防司令長 秋田 榮一
	元 大子町消防本部 消防司令長 菊池 久
	元 鹿島南部消防本部 消防司令長 潮来 辰雄
	元 鹿島南部消防本部 消防司令長 香取 正之
	元 稲敷広域消防本部 消防司令 風見 勉



消防功労者表彰受章者

平成二十四年度 消防関係者叙勲・褒章等受章祝賀会

当協会主催の消防関係者叙勲・褒章等受章祝賀会が、平成二十五年二月十五日(金)に、水戸京成ホテルで開催され、受章者並びに消防関係者総勢八十四名が出席し、先輩達のご功績を讃えました。

当日は、大変お忙しいところを出席頂いた橋本知事並びに白田議長から、祝辞を頂戴し、その後、瑞宝双光章を受章された元茨西市消防団長の齋藤喜雄氏が、受章者を代表して謝辞を述べられました。祝賀は限られた時間ではありましたが、先輩方へのお祝いの言葉やお互いの近況などが語られ、終始和やかな雰囲気の中、ご歓談頂きました。

挨拶する葉梨会長

### Panasonic

自動火災報知設備  
非常電源設備  
自家発電設備  
CVCF設備  
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店  
**株式会社入江電機工業所**

本社 茨310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号  
TEL:029-224-4614(代表)  
FAX:029-224-4613

千波営業所 茨310-0851 水戸市千波町海道付2027番地  
TEL:029-241-3636(代表)  
FAX:029-244-0540

土浦営業所 茨300-0061 土浦市並木1丁目2番20号  
TEL:029-821-8498(代表)  
FAX:029-822-6575

### トーハツ 小型ポンプ

充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで  
豊富な機種でお客様のご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース  
消火器 消防服装  
消防資機材用品一式

茨城県代理店  
**トキワ産業株式会社**

水戸市東原3-6-24  
TEL:029(224)3324(代)  
FAX:029(224)3360

全国シェアNo.1の消防車メーカー  
**(株)モリタの各種消防自動車**

常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目  
小型動力消防ポンプ・消防用ホース  
救助資機材・潜水機材・消防用被服  
防災用品・消防用品・消防資機材

茨城県代理店  
**有限会社 鈴機**

〒315-0014 石岡市国府5-2-25  
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846